



外装 昼

学内にはすでに生協食堂という飲食施設があります。食堂とはどう差別化をはかっていくのでしょうか？



▲クッキングマネージャーの横山さん（右）とフロアマネージャーの橋本さん（左）

お店の人に聞いた話がどこまで具体化されているのか。開店間もないカンフォーラへ行き、取材してきました。



外装 夜

夜のカンフォーラ。ライトアップが綺麗。以前がガレージだったとは思えないお洒落な外装です。

はみだし  
すてーじ

最近できた京大の施設の中には無駄なものが多いような気がするの私だけでしょうか？ 2枚の自動ドア、トイレの自動・手動両方つ  
かえる蛇口、極端に幅のせまい車両進入防止柵…  
⇒…。



CAFE RESTAURANT

# Camphora

カンフォーラ

時計台の改修工事・A号館北棟の取り壊し・全学共通教育棟の建設など最近の京大構内は工事続きですね。その一つ、正門横ガレージの改築によって、去る5月17日に「カフェレストラン・カンフォーラ」がオープンしたのをご存知でしょうか？

学内の飲食施設の中では少し高級感のあるこの新店舗。その実態を調べるべく、早速取材してきました。（ならっちょ）

## くつろぎと癒しの空間

京都大学のシンボル、クスノキの学名「cinnamomum camphora」にちなんで名づけられた「カフェレストラン・カンフォーラ」。

京都大学のシンボルが集まる正門前に開店したこのお店は「正門前の空間にふさわしい運営をしていきたい。学生、院生はもとより、教職員や学外からのゲストを想定したお店を目指す」というお店の人の言葉どおり、これまでの生協食堂

とは一味違った飲食施設の様です。そんなカンフォーラのコンセプトは「くつろぎと癒しの空間」。ゆとりをもって語らえるようなスペースを学内に提供する、という意図なのだそう。

カンフォーラのもうひとつの特徴は、昼と夜で変わる店の表情。星と太陽をイメージしたロゴにもそれは表れています。

去る5月16日にはプレオープンセレモニーが行われ、長尾総長をはじめ、京都大学内外の著名人が集まりました。長尾総長からは「ゲストを連れてまた来たい」といったコメントも。



内装 昼

カンフォーラの内装は昼と夜で変わります。昼は窓からの光で明るい雰囲気。夜はキャンドルの明かりでムーディーです。

内装 夜



制服 昼

清潔感のある白のシャツにスカーフがワンポイントになっています。夜にはスカーフやエプロンが変わります。



## おいしいコーヒーで迎える朝 8:00am

左はモーニングセット（350円）。右は契約農家から仕入れた新鮮な京野菜を使ったサラダ（350円〜）。どちらのメニューも素材にこだわった逸品です。



## 一味違うランチメニュー 11:00am~2:00pm



炒め物やグリルなどを中心としたランチ（500円〜）。よくある定食とは一線を画するメニューが魅力的です。

## Daytime Menu 8:00am~2:00pm

## ディナーに華を添える 各種アルコール類



ビール、地酒、ワインなど幅広い品揃えで、それぞれの品質にもこだわっているようです。「生ビール・京都1497」や「純米吟醸・古都千年」、「シャルドネの白」といった心躍るラインナップ。前菜をおつまみに、いろいろなお酒を試してみるのもいいでしょう。

はみだし  
すてーじ

吉田ショップの駄菓子コーナーに感動。毎日何かしら買っている。⇒チープな喜び。大好きです。

## くつろぎの 寛ぎの コーヒータイム



カンフォーラの大きな魅力の一つに本格的なコーヒーがあります。有機栽培の豆を使用し、本格的なエスプレッソマシンで淹れたエスプレッソを一度味わってみてください。午後のけだるい空きコマを寛ぎのコーヒータイムへと変えてみてはいかがでしょうか。

## ワンランク上の ディナーメニュー 5:00pm~10:00pm



左の写真はカンフォーラディナー（800円）。内容は前菜・スープ・メインディッシュ・パンorライス・デザート。+100円でソフトドリンクを、+200円でグラスワインをセットにできます。

## 24種類の豊富な前菜 2:00pm~



上は「地鶏の黒胡椒揚げ（350円）」  
下は「イタリアンコロケピザ風味トマトソースを添えて（250円）」この他にもお洒落なメニューが盛沢山です。



## Twilight Menu 2:00pm~10:00pm

（法・1 ぎよ）  
（記事は背伸びして書きました；編）